

大阪府がん登録

—がん登録資料の活用あれこれ—

Osaka cancer registry: various kinds of utilization of the registry data

佐藤 直美* 伊藤 ゆり 井岡 亜希子 田中 政宏 津熊 秀明

1. はじめに

大阪府がん登録では、大阪府における効果的かつ総合的ながん対策の実現を目指して、大阪府がん登録資料を様々な形に加工し情報提供を行っている。

2. がん登録資料の活用例

(1) 市町村のがん対策の推進に向けて、市区町村別のがん統計値を市町村に提供
市町村において効果的ながん対策を推進するためには、大阪府同様、がんの現状把握と課題整理、そこからみえてきた必要ながん対策の死亡率減少効果を確認し、分野別施策の優先順位を決定することが重要である。一方、大阪府がん登録資料および人口動態統計を用いることにより、府内市町村のがん統計値（罹患、生存率、限局割合、死亡、など）を算出することは可能である。そこで、大阪府がん登録では、市区町村のがん統計値を年報として公表するとともに、このように算出された数値をわかりやすく図示した

「統計でみる大阪府のがん

<http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/training/text/0809.pdf>」も発刊している。

(2) がん医療の均てん化に向けて、がん診療連携拠点病院等の診療実績を公表

大阪府には、がん医療の均てん化を目指した厚生労働省指定のがん診療連携拠点病院として、1 都道府県がん診療連携拠点病院と 14 地域がん診療連携拠点病院がある。そして、これらの医療機関については、わが国に多いがん（胃、大腸、肝、肺、乳房）における診療件数および 5 年相対生存率を公表してきた。

一方、大阪府には、がん診療連携拠点病院と同等の診療実績を有する医療機関が多く存在する。そこで、2009 年度からは、専門的ながん診療機能の充実を図るため、23 のがん診療拠点病院が大阪府に指定された。これらの施設の診療実績については、国指定の拠点病院と同じように公表されており、その結果、現在は 38 医療機関の診療実績および病期を調整した生存率をホームページ

<http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/gankyoten/index.html> でみることができる(表)。なお、病期を調整すると医療機関間の生存率はあまり変わらないことから、医療機関をランキングで並べるのではなく、府民が実際に行く、または、医療従事者が患者紹介に活用しやすいように、医療機関を医療圏別に整理している。

*大阪府立成人病センター・がん予防情報センター

〒537-8511 大阪府大阪市東成区中道 1-3-3

表. 大阪府立成人病センター・がん予防情報センターホームページ
- 施設別治療数と5年相対生存率

施設別主治療数(2001-2003年診断患者)と5年相対生存率(1996-2000年診断患者)－胃															
医療圏	施設名	2001-2003年診断患者				1996-2000年診断患者									
		患者総数	新発届出患者			限局		領域		遠隔		全病期		病期調整	
			手術	化療	放治	対象数	生存率%	対象数	生存率%	対象数	生存率%	対象数	生存率%		
市北部	*済生会中津病院	416	342	72	<10	215	89.8	151	40.2	68	0.0	440	58.3	54.0	
	*北野病院	147	58	44	<10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*住友病院	198	169	75	<10	108	96.2	68	38.3	20	—	197	67.8	62.0	
	大阪市立総合医療センター	440	400	21	<10	219	97.2	91	39.7	30	0.0	467	61.5	54.1	
	*淀川キリスト教病院	370	220	53	<10	212	94.6	108	34.3	40	7.8	369	68.0	58.2	
市西部	*関西電力病院	69	54	17	<10	62	90.3	40	40.2	11	—	114	64.5	50.9	
	*日生病院	84	59	33	<10	74	89.7	47	43.2	21	—	167	65.0	60.2	
市東部	大阪赤十字病院	439	350	105	<10	241	92.7	190	35.7	63	5.2	506	60.6	56.9	
	*大阪警察病院	163	86	47	<10	175	98.6	102	54.7	48	6.6	328	72.1	62.8	
	*NTT西日本大阪病院	138	92	35	<10	129	97.7	76	37.4	47	8.9	254	63.9	59.3	
	大阪府立成人病センター	955	576	133	<10	563	98.7	170	56.2	92	1.2	825	80.8	59.5	
	*済生会野江病院	95	16	17	<10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	国立病院機構大阪医療センター	150	74	12	<10	182	86.5	91	—	26	—	314	61.5	49.8	
	*大手前病院	121	94	48	<10	89	96.9	66	46.4	18	—	173	68.9	56.6	
市南部	大阪市立大学医学部附属病院	174	91	39	<10	308	94.6	186	43.0	68	1.6	571	66.6	57.7	
	府立急性期・総合医療センター	411	266	156	<10	243	92.6	184	36.5	66	5.5	506	58.6	53.2	
豊能	*市立池田病院	69	16	21	<10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	市立豊中病院	375	257	118	<10	237	95.0	179	38.3	48	2.3	502	63.7	58.3	
	*済生会吹田病院	110	53	49	<10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*市立吹田市民病院	182	70	27	<10	48	86.2	40	41.3	24	—	114	51.9	50.4	
	大阪大学医学部附属病院	216	27	11	<10	178	97.5	75	44.7	16	0.0	274	78.5	63.5	
三島	大阪医科大学附属病院	439	192	91	<10	120	—*	57	—*	71	0.0	251	—*	—*	
	*北摂総合病院	55	11	<10	<10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	高槻赤十字病院	221	133	42	<10	68	96.5	63	43.4	30	7.4	167	53.8	59.3	
	*愛仁会高槻病院	177	112	49	<10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
北河内	星ヶ丘厚生年金病院	331	249	75	<10	230	94.8	121	43.3	64	0.0	420	65.4	57.2	
	*関西医科大学附属病院	585	385	40	<10	389	93.7	229	41.4	111	1.9	731	63.1	53.1	
	*松下記念病院	383	222	75	<10	77	95.6	38	50.1	28	—	144	65.5	56.1	
中河内	東大阪市立総合病院	287	193	61	<10	105	84.9	106	34.6	43	0.0	259	46.7	46.9	
	*八尾市立病院	137	85	41	<10	105	92.3	55	39.7	44	0.0	205	58.6	59.8	
南河内	近畿大学医学部附属病院	428	265	78	<10	243	93.4	159	40.4	70	4.6	473	62.5	53.2	
	国立病院機構大阪南医療センター	148	98	102	<10	118	—*	46	—*	46	—*	210	48.7	—*	
堺市	*市立堺病院	310	240	76	<10	135	95.7	119	38.7	36	0.0	294	60.9	56.9	
	大阪労災病院	377	310	147	<10	238	92.9	217	43.3	62	1.8	519	61.4	57.5	
	ペルランド総合病院	176	114	36	<10	81	87.5	75	—	23	—	183	51.0	48.0	
泉州	*府中病院	134	94	24	<10	61	90.4	39	42.3	18	—	119	61.6	59.8	
	市立岸和田市民病院	230	192	33	<10	152	93.3	109	44.3	70	1.5	348	58.7	59.9	
	*市立泉佐野病院	80	30	29	<10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

Summary

We have provided various kinds of cancer information to Osaka prefectural government and inhabitants, using Osaka cancer registry's data to implement the effective and comprehensive cancer control in Osaka (http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/ocr_hcr/ocr/nenpo/nenpo72.pdf, <http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/training/text/0809.pdf>). The information includes cancer statistics in each municipality and second level medical district and cancer survival in the designated cancer care hospitals for further centralization of treatments in Osaka (<http://www.mc.pref.osaka.jp/ocr/gankyoten/kyoten2.html>).